

観光庁後援

ふじのくに 子ども観光大使通信

第8号
発行
ふじのくに
子ども観光大使
事務局
2014.1.18



弥生人になって 古代米を精米・ きなこづくりをしよう！

2014年1月18日 静岡市

今回の講師

山田 真才氏
(静岡市立登呂博物館 館長)



【日程】
 1 子ども観光大使ってなあに？
 2 登呂ムラの人々の食料と保存
 3 体験しよう
 ① 弥生時代体験
 ② 常設展 歴史を知る
 ③ きな粉ひき体験
 ④ 精米体験
 4 検定問題に挑戦しよう
 感動を発信しよう
 5 修了証・認定証授与

静岡を代表する遺跡、登呂遺跡。名前は知っていたけど今回初めて来たという子がたくさんいました。低学年が多かったのですが、館内で様々な体験をするうちに、弥生時代の人々の生活がたくさんの工夫で豊かなものだったことに気づくことができました。弥生人が着ていたと言われる貫頭衣姿も似合っていました。

弥生時代の人ってかっこよかったね

子どもたちの感想

- 1 昔の人は、今のようにはプラスチックの船を造るんじゃなくて、木でこつこつ彫って一年から半年くらいかかるのはびっくりしました。
- 2 弥生時代の人は精米するだけでもすごく時間がかかって大変でした。今は精米機で五分くらいで精米できるから楽しているなあと思いました。
- 3 昔の人は全部手作りして、実際に一部を体験したけど、とても大変だったんで、昔の人はすごいなあと思いました。いろいろ見学して楽しかったです。

保護者の皆さんの感想

- 1 歴史は興味が無いと思っていましたが娘も楽しそうに学芸員の方のお話を聞いていました。また参加したいです。
- 2 日常を離れ、新鮮な体験を子どもと体験でき、大人も有意義に過ごすことができました。
- 3 実際に体験できるコーナーもたくさんあり、興味を持って参加できました。
- 4 なかなか体験させることができなないので、こつこつ機会をたくさん作ってもらえてとてもうれしいです。子どもにも親にもいい体験になりました。

ホームページでは最新情報を随時更新中！
検索



木でつくって、お米の周りの皮がだんだんと剥けてきたよ。



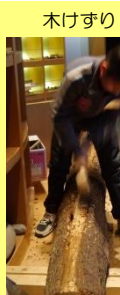
ちよっと重いけど、きな粉がどんどんできてくるよ。



弥生時代の様子ってこんな感じなんだ。



登呂遺跡って「農耕」が早く始まったところなんだ。



木けずり



火おこし



田下駄



高床式倉庫

登呂遺跡博物館では、たくさん体験ができたよ



新たに観光大使に二名認定されました。これからもたくさん静岡の好きなところを見つけてください。

観光大使認定！

子ども観光大使に認定！

子ども観光大使になるための3つの条件

- ① 子ども観光大使の講座に3回以上参加する。
- ② 観光はがき・観光俳句・観光動画のいずれかで、ふじのくにの良さを発信する。(はがきを事務局へ投函)
- ③ 「子ども観光大使検定」に合格する。

ふじのくに子ども観光大使認定証は静岡県知事の認定です！



<各会場へのお申込み方法>

1 お名前 2 学年 3 電話番号 4 住所
5 保護者氏名 6 参加日

をお伝え下さい。



HP: <http://www.toss-smile.net/>
mail: kodomo_wakuwaku@yahoo.co.jp
電話: 080-6954-4257

- ① 予定は、天候等の都合で中止・変更する会場もあります。
- ② 各会場ごと参加人数に限りがあります。
- ③ 保護者同伴が原則です。
- ④ お申し込みは、各会場3ヶ月前から承ります

2013 年間スケジュール

- 6月22日(土)【浜松】和紙タオルの不思議
- 7月13日(土)【富士宮】乳しぼり体験
- 8月18日(土)【静岡】ホビースクエア
- 9月21日(土)【掛川】忍者とめぐる掛川城
- 10月26日(土)【沼津】手もみ茶体験
- 11月9日(土)【伊豆の国】江戸の代官屋敷
- 12月7日(土)【裾野】五竜太鼓体験
- 1月18日(土)【静岡】弥生人になって精米
- 2月8日(土)【磐田】ヤマハウィンドカー
- 3月15日(土)【富士】紙バンド工作